



2026 年度 <特定課題>

外国人材の受け入れと日本社会 募 集 要 項

募集期間 2026 年 9 月 1 日(火)～2026 年 11 月 14 日(土)23 時 59 分(日本時間)

トヨタ財団の助成の基本的な考え方

トヨタ財団は下記の点を満たすものを助成の対象とします。

1. 社会的な意義が大きいこと
2. 内外の課題を先取りするものであること
3. 未来志向であること
4. 持続可能性、発展可能性があること
5. 波及効果が期待されること

1. 助成の趣旨

急速に進む外国人材の受け入れは、日本の社会・経済にとって長期・超長期にわたる大きな変革をもたらすものであり、極めて大きい影響をもたらしています。トヨタ財団は、(1)外国人材が能力を最大限発揮できる環境作り等の5つの助成分野(下記2.-2.参照)を設定し、外国人材受け入れの総合的な仕組み構築への寄与が期待できる調査・研究・実践に対して助成する本プログラムを2019年度より開始しました。

本年度も、引き続き以下の3点をねらいとして公募します。5つの助成分野のいずれかについての調査・研究を行い、かつ助成期間中に、その課題解決や状況の改善に向けた仕組みや制度の構築等の持続的な実践に取り組むプロジェクトを助成対象とします。

- 外国人材の増加が日本社会の様々な面に引き起こす変化や影響と、その対応のあり方を探る
- 外国人材が直面する諸課題を生み出す要因を洗い出し、改善策を提案・実践する
- 外国人材の支援に関わる現場の人々と、その関連分野の研究者や行政、地域住民、当事者、経済団体、企業等をつなげ、共に課題解決に取り組むためのプラットフォームをつくる

2. 助成の枠組み

1. 基本テーマ 「外国人材の受け入れと日本社会」

2. 助成分野

- (1) 外国人材が能力を最大限発揮できる環境作り
- (2) 外国人材の情報へのアクセスにおける格差の是正
- (3) ケア・サポート体制を担う人材と既存資源の見直し
- (4) 高度人材の流入促進
- (5) 日本企業の海外事業活動における知見・経験からの学びと教訓

＊各分野は相互に関連が深いため、複数の分野にまたがったプロジェクトの応募も歓迎します。

＊本プログラムは、調査・研究・実践のすべてを実施するプロジェクトへの助成を主眼としていますが、分野(4)(5)に限り、調査・研究に主軸を置いたプロジェクトの応募も受け付け、選考対象とします。ただし、両分野においても、実践活動が含まれるものを優先します。

3. 助成期間

2027年5月1日から2029年4月30日まで(2年間)、もしくは2030年4月30日まで(3年間)

4. 助成金額

総額:5,500 万円（1 件あたりの助成金額:500 万円～1,000 万円程度）

＊間接経費及び一般管理費（オーバーヘッド）について

助成対象プロジェクトに直接的にかかわらない費用（間接経費）、プロジェクトの運営において中心となる組織・団体の一般管理費（オーバーヘッド）も計上可能です。上限は予算総額の 10%です。

ただし、助成事業として採択された場合でも、申請額からの減額等の条件がつけられる場合があります。予算の妥当性は選考の非常に重要な要素となりますので、プロジェクトの実施に必要な費用のみを積算し、予算計画を立ててください。

5. 助成の対象

（1）取り組む分野に対して、必要かつ適切な広がりをもつ領域横断的なチームを形成すること。個人のみの応募は対象となりません。

（2）応募者の年齢・所属・国籍は問いませんが、代表者と連絡責任者については日本語で日常的なコミュニケーションがとれること。応募書類の受付は日本語のみとなります。

＊代表者の主たる居住地についての要件はなくなりました。

（3）適切な対象に向けた政策提言や公開シンポジウムの実施等による成果発信を計画に組み込み、助成期間内に達成すること。

（4）助成期間中は財団と連絡を密に取り、当財団が主/共催するシンポジウム等に参加すること。

3. 応募について

1. 応募期間

2026 年 9 月 1 日(火) ～ 11 月 14 日(土) 23 時 59 分まで

＊11 月 13 日(金) 17 時以降のお問い合わせには対応しかねますので、ご了承ください。

2. 応募言語

日本語

3. 応募方法

トヨタ財団ウェブサイト(<https://www.toyotafound.or.jp/grant/migration/>)より応募登録(エントリー)を行い、基本情報を入力し、企画書をダウンロードして必要な情報をご記入の上アップロード(提出)してください。

4. 事前相談・説明会

応募者は企画書の提出に先立ち、当財団の担当プログラムオフィサーに相談することができます。その際、A4 用紙 2 ページ以内で ①企画タイトル(仮)、②企画概要、③参加者、④過去の実績、⑤予算の 5 点をまとめたもの(コンセプトノート)をご用意ください。なお、事前相談は 2026 年 10 月 14 日(水)17 時までとします。詳しくは、migration@toyotafound.or.jp までお問い合わせください。

また、公募にあたって説明会を実施します。実施方法及び日程、申し込み方法についてはウェブサイトをご確認ください。

5. 応募にあたっての注意事項

- ◇ 選考の対象となるのは、トヨタ財団ウェブサイトを通じて送信(アップロード)され、財団が受信した指定書式の企画書に限ります。郵便、E メール、FAX 等の手段によって送られた企画書は選考の対象なりません。
- ◇ 締切当日のトラブル等により応募書類を送信できない不具合が生じて、対応しかねます。期限前日の日中までのご提出を強くお勧めします。
- ◇ 応募書類の記載に虚偽または重大な誤りがあった場合、助成を取り消すことがあります。
- ◇ ご提出いただきました応募書類等はお返しできませんので、あらかじめご了承ください。

4. 選考について

1. 選考方法と選考基準

- ◇ 助成の可否は、外部の有識者からなる選考委員会(委員長:園田茂人・東京大学東洋文化研究所特任教授)による選考を経て、2027 年 3 月下旬に開催されるトヨタ財団理事会で決定されます。
- ◇ 選考委員会はトヨタ財団の「基本的な考え方」及びプログラムの趣旨との整合性、構成メンバーの適切さ、実現可能性、期待される成果や波及効果、予算の妥当性等の観点から企画書を審査します。
- ◇ 選考委員会は企画書だけでなく、トヨタ財団を通じて応募者に追加の情報を求めることがあります。また選考委員会は企画書の内容(活動・予算・成果物等)について、必要に応じて変更を求める場合があります。

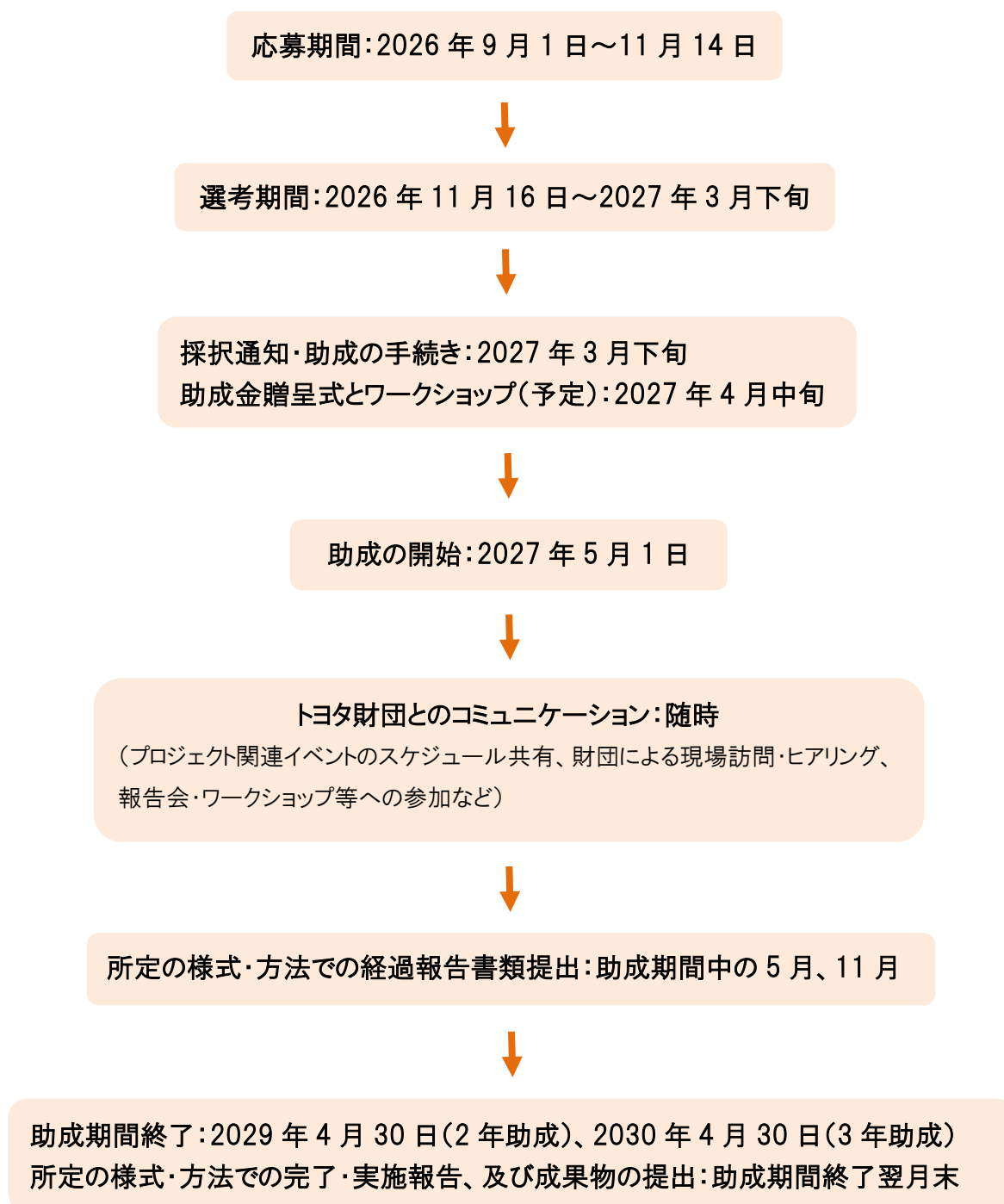
2. 選考結果

2027 年 3 月末に応募時に登録した E メール宛にお知らせいたします。採否の理由等、選考に関わる内容に対してのお問い合わせには一切応じかねますので、あらかじめご了承ください。

5. 応募から助成までの流れ

助成対象となったプロジェクトの代表者は、トヨタ財団とコミュニケーションをとりながら、良好なプロジェクト運営を行うことが求められます。応募から助成決定、助成期間終了までに必要な事項とその時期は、以下のとおりです。

なお、助成期間終了後も 2～3 年を目途に、当財団の助成の質を上げ、プログラムの改善などを行う目的で報告をお願いすることがありますので、その際はご協力をお願いします。



6. その他

個人情報の取り扱いについて

企画書から得られた個人情報は、選考及び統計資料作成、応募者への連絡等事務作業に使用します。法令で認められる場合を除き、応募者の同意なく上記目的以外に使用することはありません。

著作権について

本プロジェクトを実施した結果作成された成果物の著作権は全て助成対象者に属します。ただし、助成対象者の同意を得られた場合には、提出された報告書またはその内容の一部をもとに、トヨタ財団が成果をとりまとめた出版物等を作成することがあります。

生成 AI の利用について

企画書作成における生成 AI の利用は可能です。ただし、企画内容は申請者独自のものであること、また、著作権侵害や個人情報・機密情報の漏えい、虚偽やバイアスの混入といったリスクがあることを十分に理解したうえで、申請者の責任において適切に利用することが求められます。

【ご参考】トヨタ財団の他プログラム(2026 年度)のご紹介

- ・国内助成プログラム
- ・研究助成プログラム
- ・国際助成プログラム
- ・特定課題「先端技術と共創する新たな人間社会」
- ・特定課題「人口減少と日本社会」

各プログラムについての最新情報は、トヨタ財団ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.toyotafound.or.jp/>

お問い合わせ先

公益財団法人トヨタ財団

特定課題「外国人材の受け入れと日本社会」(担当:利根、甲野)

Email: migration@toyotafound.or.jp